

島民が一体感を持った観光振興

を活かし、能登との連携を深め、里山づくりのモニターツアー等の実施をします。

「トキふれあいプラザ」は、観光振興の起爆剤として、交流人口の拡大につなげます。



トキふれあいプラザ

(1) 観光等交流人口の拡大

佐渡観光での失われた20年を取り戻すため、現状と課題をしっかりと分析し、受入態勢の構築と満足度向上策が必要です。「個客」ニーズを捉えて、オリジナルティと意外性を組み合わせ、複数の観光資源を関連付ける魅力の創出が必要です。

また、北陸新幹線開業を見据え2本の新幹線を結び付けた効果的な誘客対策を展開する必要があります。

具体的には、受入態勢の構築では、自力で検証できる観光データの調査・分析を行い、観光の経済波及効果を提示するなど、市民一丸となった取組を進めます。

また、自然や文化を体験する旅行者の増加など、多様化するニーズに対応できる体験型観光を組み入れた誘致活動の一元的な受入窓口の整備を進めます。

満足度向上策では、ホテル等を対象におもてなし講座や一流ホテルでの短期研修を実施するとともに、専門家による品質評価と改善に向けた助言を行います。

魅力の創出では、着地型旅行商品の開発に取り組み、個々の地域で受け入れる組織づくりを進めます。また、GIAHS（世界農業遺産）

また、佐渡金銀山遺跡については、世界遺産登録に係る推薦書の作成に着手しますし、ジオパークについては、4月に日本ジオパークネットワークへの加盟申請を行います。スポーツ・ツーリズムでは、新たに長距離の水泳競技「オーブンウォータースイミング」を実施します。

誘客対策では、北陸新幹線に関係する対岸市等と連携した旅行会社訪問や、関西方面に加え首都圏や北陸地域を対象にメディアへの営業活動を実施します。

します。さらに、和牛、豚、ノドグロ、マグロなどの食材をホテル等で活用できる仕組みをつくります。また、酒米の生産を促進し、酒造業における地産地消とともに、産業間連携を図ります。

環境ブランド戦略としては、もみ殻や竹を活用した燃料化や、海藻等を活用した循環型農法の実証を行います。また、新エネルギーや低公害車の普及促進を図り、環境イメージを付加します。

(2) 商工業の振興

本市の産業は産業間生産波及力が小さいため、加工、流通、販売部門を島外に依存しており、まずこれを取り戻し、雇用の場を確保していきまします。また、豊富な地域資源を活用した農商工連携が必要です。

佐渡産品の出荷には海上輸送費が上乗せになっており、本土との競争には流通コスト対策が必要です。

雇用情勢が不安定な原因として、業種間ミスマッチと条件ミスマッチがあり、対策を講ずる必要があります。

具体的には、農商工連携策では、企業が農林水産業等の異業種に進出する第二創業や起業を推進するため、企業への専門家派遣や設備費等の助成制度を創設します。また、地域資源を活用したオリジナル商品の開発

を推進するための助成制度を創設します。さらに、大学と連携し、観光土産品の調査・研究を行い、商品開発やパッケージの提案をします。

流通コスト対策では、農林水産物の流通効率化を図るための機械・設備の導入に対し支援を行います。

業種間ミスマッチの対策では、高校生等に市内就職の意識を醸成するとともに、島内企業に就職するU・Iターンの学生等に対し支援を行います。

条件ミスマッチの対策では、経営者や従業員のための人材育成セミナーの開催や研修会参加への支援をするとともに、就業に必要な資格取得への支援により人材の資質向上、能力開発を図ります。

主な事業

集落営農・担い手支援事業

6053万円

生物多様性戦略推進事業

4154万円

地産地消生産拡大事業

568万円

地域資源活用調査・実証事業

2225万円

起業チャレンジ支援事業

1500万円

新製品開発等支援事業

900万円

若者U・Iターン就職支援事業

560万円